

地理參考書研究 (第二回)

一、海洋學講話 横山又次郎著 定價 壹圓五拾錢 早稻田大學出版部發行 海洋の大きさ、形、深さ、沈澱物、海水の化學的及物理的性質、並に海の運動について可なり精密な説明をなして居る、中等程度の參考書としてよい書である。

二、地質學教科書 同氏著 定價 九拾錢 富山房發行 地相、岩石、働力、岩成、構成、歴史等の諸篇に分ち地質學の概要を初學者にも分り易く説明して居る面白く讀む事が出来る。

三、地震觀測法 中央氣象臺 定價 壹圓 普通地震計、大森式微動計、其他の地震計についての構造、取扱方、觀測の要素、遠地地震、近地地震、脈動及地盤の傾斜について實際的に説明してゐる、觀測法の概要を知る事が出来る。

四、海の物理學 寺田寅彦著 定價 七拾錢 日本ローマ字社 海に關して精しい物理的説明をなしてゐる、海の運動等を調べるのによい參考書でローマ字綴で書いてある。

見出し得ぬ長所

專 一

可成り親しくつきあつてゐる今でさへ、私は其の人に對して心から打ちこける事が出来ない。何人ものぞき見る事を許さない、いかめしい黒屏につまられた中に、我儘いづばいに育てられた爲か、いまはいい噂の主を、父にもつた爲か、その人は余りに邪推が深すぎる物ごころをさかく悪意に解釋しやうとする。紅絹が何であるかを知らず、門のない家を不思議がつた程、世の中を知らない人でありながら、人を疑ふ事を、ごうしてこんなな知つてゐるのであらう。私達があたり前と思ふ事でさへ、さも善意に解釋した様に、誇らしげに語る時、私はつくくあさましくなる。又、容易に人を信じない、折角説明してあげた事を、又他の人にきいて居るのを、私は何度もみた。何不自由ない家に、未子として生れたその人は、己が意を通す事になれて、人の爲さぬ事は、余り思はない様だし遠慮する等さぬ事は、考へも及ばぬらしい。表面に表れたその人は、いかにも無邪氣な、面白い人なのに時には卑劣な手段によつてまで、己が利を計らうとする。あさましい人、さ、あはれみながらも、毛虫の様にきらひ度くもないのは、その人に、私の見出し得ぬ長所があるにちがひない。

四月の分

一、話方に關する諸問題 (國語教授四月號)

五月國語教授界

- 一、小中學の連絡を計る (國語教授) 保科孝一
二、支那の韻文に就て (全 上) 兒島献吉郎
三、誤字忘字の原因 (全 上) 西川由大郎
四、讀み方教授について (全 上) 蘆田惠之助
五、人情美教材觀ノ一 (全 上) 妹尾良彦
六、綴り方に於ける創作意義 (全 上) 花田甚五郎
七、綴斷式讀み方教授研究 (帝國教育) 大分附屬小學校 女師 富田佐一
八、作文力と觀察修練 (普通教育) 富田佐一

六月國語界

- 一、韻文教授要點 (教授の實際) 五十嵐 力
二、教師の話下手 (小學校) 市川源三
三、訓育と綴り方 (小學研究) 西尾 實
四、綴り方教授の眞諦 (普通教育) 梅田誠一
五、文の餘裕 (國語教授) 八波則吉
六、人情美教材觀 (國語教授) 妹尾良彦
七、小品文の價值と其指導(一) (全 上) 五味義武
八、創作指導上の十項目 (全 上) 新井順一郎
九、文章分類の必要と其方針 (全 上) 駒村 德壽
一〇、尋常六年の綴り方教授 (小學研究) 花田甚五郎

七月國語教授界

自由選題の後始末

- 一、書方の根本要件 (小學校) 服部 岩松
二、政治的問題について (國語教授) 河野伊三郎
三、綴り方劣等生の指導 (全 上) 保科孝一
四、小品文の價值と其指導(二) (全 上) 岡井良二
五、我が作文教授 (全 上) 五味義武
六、讀み方豫習法研究 (全 上) 金子彦二郎
七、書簡文の教授について (小學校) 長澤末次郎
八、漢字教授上の注意 (小學校) 丸山 大介
九、國語教授上教授者の態度 (國語教授) 原田末吉
一〇、再支那の韻文に就いて (全 上) 保科孝一
一一、國語教授者修養の要點 (全 上) 兒島献吉郎
一二、綴り方教授改良の要點 (全 上) 蘆田惠之助
一三、高等科綴り方に於ける余の試み (全 上) 近藤 空
一四、綴り方教授上最も顧慮すべき問題 (全 上) 下山 懋
一五、小品文の價值と其指導(三) (全 上) 五味忠度
一六、國語体文章昔物語 (全 上) 五味義武
一七、綴り方教材と文題との關係 (小學校) 岩城準太郎
一八、綴り方教授の到達點 (小學研究) 五味義武
一九、書取の任務 (教育研究) 生田五郎
二〇、短篇戯曲の本質價值及指導 (國語教育) 水戸部寅松
二一、綴り方成績處理の實際 (全 上) 竹村 定一
二二、小林喜一

八月國語教授界

- 一、自由選題の後始末 (教育の實際) 服部 岩松
二、書方の根本要件 (小學校) 河野伊三郎
三、綴り方劣等生の指導 (全 上) 保科孝一
四、小品文の價值と其指導(二) (全 上) 岡井良二
五、我が作文教授 (全 上) 五味義武
六、讀み方豫習法研究 (全 上) 金子彦二郎
七、書簡文の教授について (小學校) 丸山 大介
八、漢字教授上の注意 (小學校) 原田末吉
九、國語教授上教授者の態度 (國語教授) 保科孝一
一〇、再支那の韻文に就いて (全 上) 兒島献吉郎
一一、國語教授者修養の要點 (全 上) 蘆田惠之助
一二、綴り方教授改良の要點 (全 上) 近藤 空
一三、高等科綴り方に於ける余の試み (全 上) 下山 懋
一四、綴り方教授上最も顧慮すべき問題 (全 上) 五味忠度
一五、小品文の價值と其指導(三) (全 上) 五味義武
一六、國語体文章昔物語 (全 上) 岩城準太郎
一七、綴り方教材と文題との關係 (小學校) 岩城準太郎
一八、綴り方教授の到達點 (小學研究) 五味義武
一九、書取の任務 (教育研究) 生田五郎
二〇、短篇戯曲の本質價值及指導 (國語教育) 水戸部寅松
二一、綴り方成績處理の實際 (全 上) 竹村 定一
二二、小林喜一

- 一、小品文の價值と其指導(四) (全上) 五味義武
- 一、教化の偉人細井平洲先生 (全上) 新井誠夫

十月國語教授界

- 一、思想整理の意義 (小學研究) 氏家丑治郎
- 一、綴り方教授に於ける主觀主義の長短 (教育研究) 小林佐源治
- 一、國語漢文教授の能率を増進せよ (國語教育) 保科孝一
- 一、讀み方に於ける豫習及復習の指導 (國語教育)
- 一、綴り方に於ける兒童の最も歡迎する題目 (國語教育)
- 一、余の試みつゝある話方教授 (國語教育)
- 一、書き方に於ける細字教授の方法 (國語教育)

十一月國語教授界

- 一、言語の性質に就いての研究 (教育研究) 高橋喜藤治
- 一、綴り方教授の指導(一) (全上) 蘆田惠之助
- 一、徹底したる國歌の教授を望む (教育界) 氏家丑五郎
- 一、綴り方思想整理の教授 (小學研究) 丸山良二
- 一、綴り方教授に於ける思想教授 (全上) 花田甚五郎
- 一、教授と其の背景 (小學校) 橋本留喜
- 一、自學を重する讀み方教授 (小學校) 長谷川宥太郎
- 一、綴り方教授の規範とは何ぞ (學校教育) 澤野正浩
- 一、讀み方教授と創作力の養成 (全上) 友納友次郎
- 一、綴り方と創作 (全上) 垣内松三
- 一、國語教材研究の意義 (教育實驗界) 竹内富三郎
- 一、綴り方の構想 (全上)

- 一、候文の基礎的取扱 (普通教育) 村瀬清三郎
- 一、中等學校に於ける文法教授の改善 (國語教育) 保科孝一

十一月國語教授界

- 一、作文教授に就いて (國語教育) 次田潤
- 一、短曲戯曲の本質價値の指導 (全上) 竹村定一
- 一、國語教授と學習訓練 (全上) 富田佐一
- 一、讀み方教授について (全上) 山田義直
- 一、綴り方教授に於ける優等文取扱の實際 (全上) 岡井良二
- 一、讀み方教授と綴り方教授 (全上) 伊藤米次郎
- 一、評論記述の指導 (全上) 池田彌一郎

十二月國語教授界

- 一、綴り方教授の指導(二) (教育研究) 蘆田惠之助
- 一、副讀本の利生について (國語教育) 保科孝一
- 一、中等學校に於ける文法教材 (全上) 近藤兵庫
- 一、短曲戯曲の本質價値及指導 (全上) 竹村定一
- 一、國語の成績者査法に關する研究 (全上) 田上新吉
- 一、作文教授と獨創的精神の涵養 (全上) 岡部嘉一
- 一、讀解の心理と讀み方教授の全作業 (全上) 下山懋
- 一、師範四年に對する作文の一試み (全上) 金子彦二郎
- 一、讀み方教授綴り方教授 (全上) 伊藤米次郎
- 一、話体の研究 (全上) 鈴木暢幸
- 一、國漢文教材の研究を望む (全上) 山田信次

大正七年二月四日印刷
大正七年二月八日發行

(非賣品)

發行所 東京市女子高等師範學校内
文科學術談話會

編輯兼發行者 東京市赤坂區新坂町六十八番地八號
千葉安良

印刷者 東京市神田區旅籠町二丁目十二番地
畑桂之助

印刷所 同所
廣業館 (電話下谷五五七番)